

官民連携による見守りシンポジウム～ 高齢者の消費者被害防止に向けて ～
結果概要

開催趣旨：高齢者の消費者被害を防ぐための、官民連携による様々な対策事例などを共有し、意見交換やワークショップを行うことで、見守りのあり方や新しいアイデアを全国に発信する。

開催日時：2016年3月13日（日）13時30分～17時20分（3時間50分）

開催場所：中央合同庁舎第8号館1階講堂（住所：東京都千代田区永田町1-6-1）

主催：内閣府消費者委員会

参加者：74名（行政、民間事業者、消費者団体、弁護士・司法書士、関係者等）

【当日のプログラム】

(1) 開会挨拶（10分）13：35～13：45

河上 正二（内閣府消費者委員会委員長）

(2) 第1部 パネルディスカッション（90分）13：45～15：15

パネリストにそれぞれの取組事例等をご報告いただいた後、「消費者被害防止のための見守り」や、「ICTを消費者被害防止にどのように活用していくか」等について意見交換を行った。

【テーマ】官民連携による高齢者の見守り

【コーディネーター】東 珠実（相山女学園大学現代マネジメント学部教授）

【パネリスト】

金尾 浩志（富山県警察本部生活安全部生活安全企画課課長補佐）

小川 晃子（岩手県立大学社会福祉学部教授）

村上 文洋（一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構事務局、株式会社三菱総合研究所主席研究員）

齊藤 秀樹（公益財団法人全国老人クラブ連合会常務理事）

杉浦 裕樹（NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ代表理事）

(3) 第2部 ワークショップ（100分）15：30～17：10

消費者被害を防ぐために、高齢者が地域とつながるにはどうしたらよいか、会場の参加者も加わりワークショップを行い、それぞれのアイデアを会場全体で共有した。

【テーマ】地域における高齢者の見守りネットワークのアイデア

【ファシリテーター】宮島 真希子（NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ理事）

(4) シンポジウム総括（10分）17：10～17：20

河上 正二（内閣府消費者委員会委員長）